

平成25年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 大牟田市立駛馬北小学校

種別 幼稚園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒836-0084
福岡県大牟田市馬場町17番地

E-mail : hayamekita-es@st.city.omuta.fukuoka.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 66名 女子 76名 合計 142名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動 (複数選択可)

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (地域・福祉教育)

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

プロジェクト名「わたしたちも力に！めざせ世界遺産登録プロジェクト」

(1) 1年生「めざせ！むかしあそびたつ人」（生活科 10月 7時間）

(2) 2年生「ぐんぐんのびろ こんなにできたよ」

（生活科 10月～11月 16時間）

(3) 3年生「大牟田大発見！カルタ探検隊」

（総合的な学習の時間 10月～11月 18時間）

(4) 4年生「受けつがれる文化財」

（総合的な学習の時間 10月～12月 17時間）

(5) 5年生「わたしたちも力に！めざせ世界遺産登録」

（総合的な学習の時間 10月～12月 19時間）

(6) 6年生「世界の宝に！めざせ世界遺産登録Ⅱ」

（総合的な学習の時間 10月～12月 17時間）

特徴的な活動事例の紹介

6年生 総合的な学習の時間「世界の宝に めざせ世界遺産登録Ⅱ」

(1) 目標

- 日本経済の発展を支えた明治日本の産業革命遺産に関心をもち、その価値を意欲的に追究したり、他地域の小学校と交流するために自分たちにできることを考え、実践したりすることができるようにする。
- GTの方と関わることから他地域と交流するにはどのようにしたらいいのかという課題を設定し課題解決に向けて友だちと協同したり、他地域の世界遺産登録文化財室の人々と関わったりしながら調べることができるようにする。
- 調べたことを整理・分析したり、それぞれが調べた産業革命遺産の価値の共通点を考えたりする活動を通して他地域の明治日本の産業革命遺産のよさ（日本の経済の発展を支えたこと）に気付くことができるようにする。
- 他地域の小学校と交流するために、ビデオレターで自分たちの活動や願いを発信できるようにする。

(2) 実践の展開

- 「つかむ・見通す」段階では、世界遺産候補である産業革命遺産は他地域にもあることをパンフレットや地図などで確認させた。そして、人との関わりで大牟田市役所世界遺産登録文化財室の方から、他地域にも大牟田市と同じように産業革命遺産があることやそれらの地域も大牟田市と同じように世界遺産登録をめざしていることを話して頂いた。そして、現在取り組んでいる宮原坑のボランティアガイドを評価して頂き、このような活動をしている学校は少ないことから他地域の小学校と交流するという学習の方向性を示して頂いた。
- 「調べる段階」では、グループや個人で選択した課題について、インターネットや図書室の資料などを使って調べ活動を行わせた。また、調べて分からないことは、各市町村の世界遺産登録推進室などにFAXやメールを活用して調べさせた。そして、調べたことを分類、整理させ、必要な情報をもとに発表カードにまとめさせた。
- 「深める段階」では、各グループの調べ活動で分かったことを発表カードを使って交流させてそれぞれがもつ価値を理解させた。また、各地域の施設が、日本の近代化に大きな役割を果たしてきたことに気づかせ、調べたこと

